

株式会社宮崎太陽銀行
2026年3月期決算について
(ダイジェスト版)

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1 . 連結決算-概要 | 11 . 地域経済活性化への取組み (M&A・事業承継) |
| 2 . 損益-概要 (単体) | 12 . 地域経済活性化への取組み (大学との連携事業) |
| 3 . 損益-業務粗利益の状況 (単体) | 13 . 地域経済活性化への取組み (DX支援) |
| 4 . 損益-資金利益の状況 (単体) | 14 . 地域経済活性化への取組み (地元企業との連携) |
| 5 . 損益-経費の状況 (単体) | 15 . 地域経済活性化への取組み (各種セミナー開催) |
| 6 . 損益-与信費用・不良債権の状況 (単体) | 16 . 2025年度の主な取組み |
| 7 . 貸出金の状況 (単体) | |
| 8 . 預金の状況 (単体) | |
| 9 . 自己資本比率 (単体・速報値) | |
| 10 . 2027年3月期の業績予想 (単体) | |

1. 連結決算－概要

- ① 当期連結決算は、2期ぶりの増収増益
- ② 経常収益は、貸出金利息の増加により前年同期比3,186百万円増加の18,046百万円
- ③ 経常利益は、前年同期比703百万円増加の2,590百万円
- ④ 親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比147百万円増加の1,480百万円
- ⑤ 自己資本比率は、前年同期比0.4ポイント上昇し8.60%

1. 連結経営成績

(単位：百万円)

	2026年3月期			2025年3月期	2026年3月期 業績予想
	速報値	2025年3月期比	業績予想比		
経常収益	18,046	3,186	2,046	14,859	16,000
経常利益	2,590	703	690	1,887	1,900
親会社株主に帰属する当期純利益	1,480	147	80	1,332	1,400

2. 連結自己資本比率

(単位：百万円、%)

	2026年3月期		2025年3月期	2024年3月期
	速報値	2025年3月期比		
自己資本比率	8.60%	0.40%	8.20%	8.14%
自己資本の額	37,671	600	37,071	36,128
リスクアセット	437,716	▲ 14,108	451,824	443,818

※業績予想は、2025年11月10日に公表したものであります。

2. 損益－概要（単体）

- ① 業務粗利益は、前年同期比800百万円増加の10,357百万円
- ② コア業務純益は、前年同期比553百万円増加の2,422百万円
- ③ 与信費用は、前年同期比989百万円増加の1,910百万円
- ④ その結果、当期純利益は、前年同期比149百万円増加の1,469百万円

(単位：百万円)

	2026年3月期			2025年3月期	2026年3月期 業績予想
		2025年3月期比	業績予想比		
業務粗利益	10,357	800		9,556	
経費（除く臨時処理分）（▲）	8,118	295		7,822	
コア業務純益	2,422	553	522	1,868	1,900
与信費用（▲）	1,910	989	710	921	1,200
経常収益	15,816	3,148	1,816	12,667	14,000
経常利益	2,457	690	657	1,767	1,800
特別損益	▲ 43	▲ 50		7	
税引前当期純利益	2,414	639		1,774	
法人税等合計	944	489		454	
当期純利益	1,469	149	69	1,320	1,400

※業績予想は、2025年11月10日に公表したものであります。

3. 損益－業務粗利益の状況（単体）

- ① 資金利益は、前年同期比662百万円増加の10,389百万円
- ② 役務取引等利益は、前年同期比194百万円増加の147百万円
- ③ その他業務利益は、前年同期比56百万円減少の▲178百万円

(単位：百万円)

	2026年3月期		2025年3月期
		2025年3月期比	
業務粗利益	10,357	800	9,556
資金利益	10,389	662	9,727
役務取引等利益	147	194	▲ 47
その他業務利益	▲ 178	▲ 56	▲ 122

4. 損益－資金利益の状況（単体）

- ① 資金利益は、前年同期比662百万円増加の10,389百万円
- ② 中小規模事業者等向け貸出金利息は、前年同期比715百万円増加の5,566百万円
- ③ 円預金利息は、前年同期比1,076百万円増加の1,526百万円
- ④ 貸出金利回は、前年同期比0.17ポイント上昇の1.69%

(単位：百万円)

	2026年3月期		2025年3月期		2024年3月期
		2025年3月期比		2024年3月期比	
① 資金利益	10,389	662	9,727	▲ 200	9,927
資金運用収益	11,916	1,739	10,177	205	9,972
貸出金利息	9,488	1,024	8,464	248	8,216
② (うち中小規模事業者等向け)	5,566	※ 715	4,851	※ 204	4,647
有価証券利息配当金	2,061	565	1,496	▲ 154	1,650
その他受入利息	366	149	216	111	105
資金調達費用	1,526	1,076	449	405	44
③ 円預金利息	1,526	1,076	449	406	43

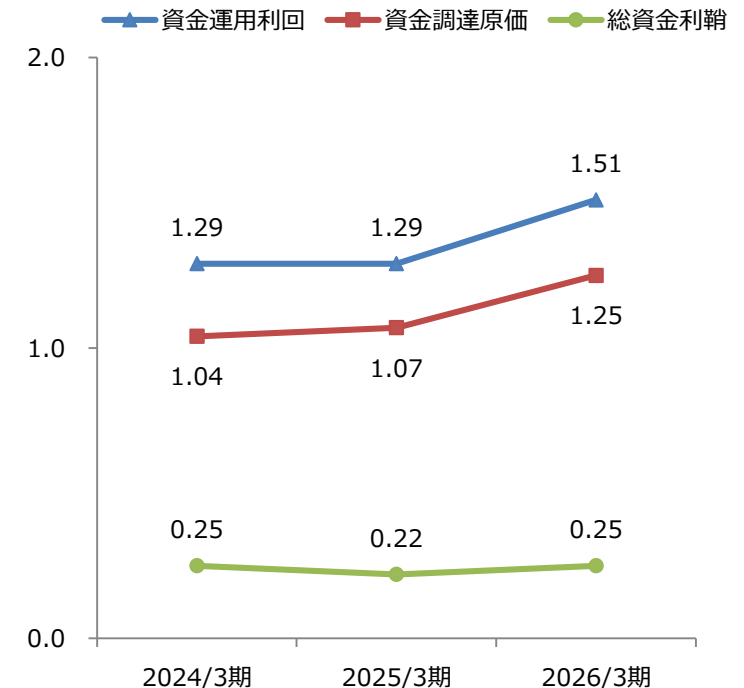
利鞘

(単位：%)

資金運用利回 (A)	1.51	0.22	1.29	0.00	1.29
貸出金利回	1.69	0.17	1.52	0.01	1.51
④ (うち中小規模事業者等向け)	1.69	0.20	1.49	0.03	1.46
有価証券利回	1.24	0.31	0.93	▲ 0.10	1.03
資金調達原価 (B)	1.25	0.18	1.07	0.03	1.04
預金等利回	0.19	0.14	0.05	0.05	0.00
総資金利鞘 (A) - (B)	0.25	0.03	0.22	▲ 0.03	0.25

<利鞘の推移>

(単位：%)



5. 損益－経費の状況（単体）

- ① 経費は、前年同期比295百万円増加の8,118百万円
- ② うち人件費は、前年同期比95百万円増加の4,325百万円
- ③ うち物件費は、前年同期比135百万円増加の3,224百万円
- ④ うち税金は、前年同期比64百万円増加の568百万円

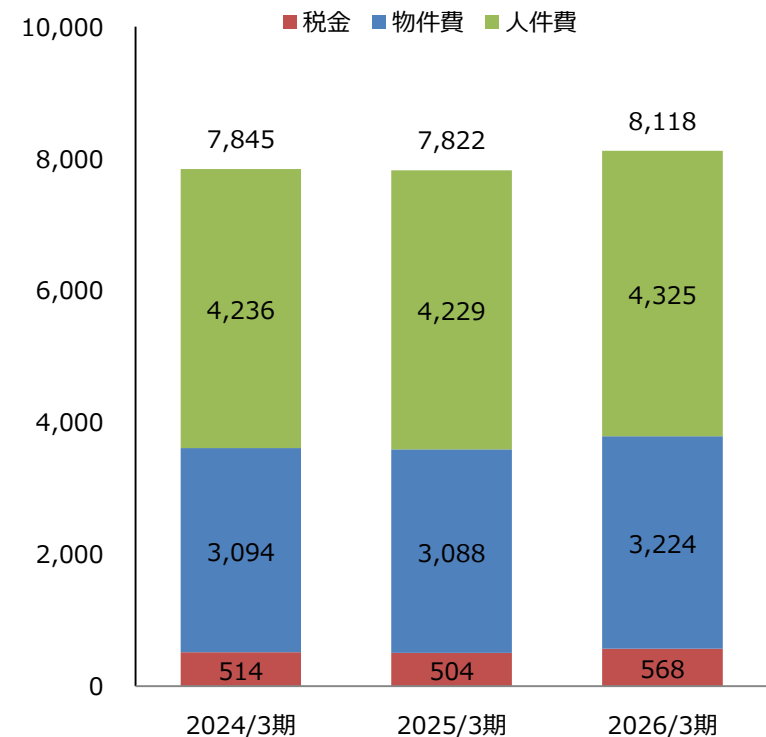
経費内訳

(単位：百万円)

	2026年3月期		2025年3月期
		2025年3月期比	
経費	8,118	295	7,822
人件費	4,325	95	4,229
物件費	3,224	135	3,088
税金	568	64	504

<経費内訳の推移>

(単位：百万円)



6. 損益－与信費用・不良債権の状況（単体）

- ① 与信費用は、前年同期比989百万円増加し、1,910百万円
- ② 金融再生法開示債権額は、前年同期比5,508百万円増加し、18,245百万円
- ③ 開示債権の総与信に占める割合は、前年同期比0.95ポイント上昇の3.22%

与信費用

(単位:百万円)

	2026年3月期		2025年3月期
		2025年3月期比	
与信費用	1,910	989	921
一般貸倒引当金繰入額	255	▲ 66	321
不良債権処理額	1,655	1,055	599

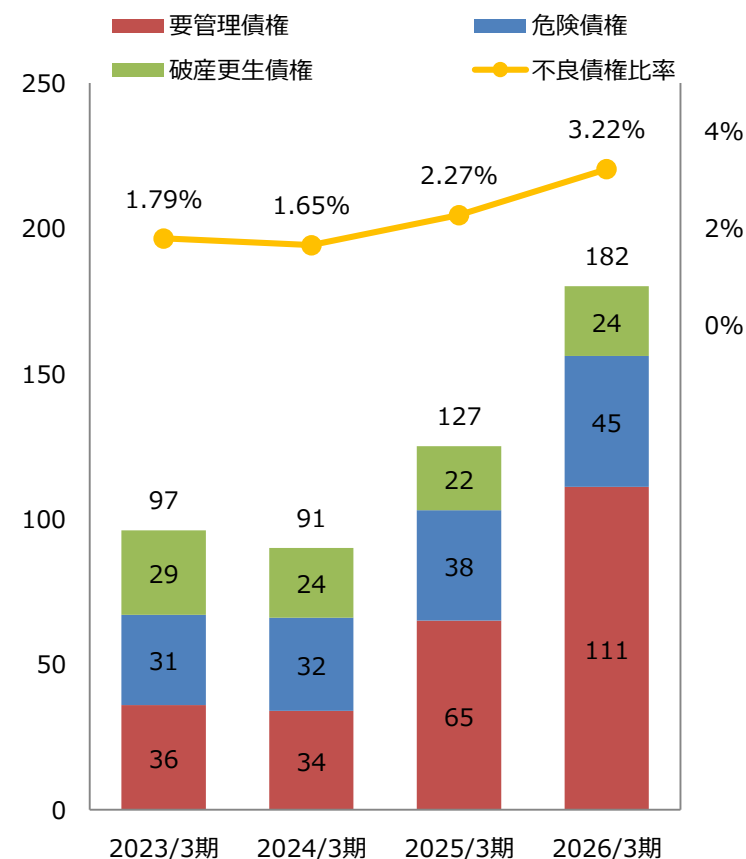
金融再生法開示債権

(単位:百万円、%)

	2026年3月期		2025年3月期
		2025年3月期比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,497	212	2,284
危険債権	4,582	694	3,887
要管理債権	11,165	4,602	6,563
小 計 (A)	18,245	5,508	12,736
正常債権	547,599	1,169	546,429
合 計 (総与信)	565,844	6,678	559,165
開示債権 (A) の総与信に占める割合	3.22%	0.95	2.27%

<金融再生法開示債権の推移>

(単位:億円、%)



7. 貸出金の状況（単体）

- ① 中小規模事業者等向け貸出は、前年同期比末残27億円、平残42億円増加
これに伴い、貸出金全体の末残は前年同期比65億円増加の5,650億円
- ② 中長期でみると中小規模事業者等向け貸出は、2022年3月期比、末残186億円増加、平残228億円増加

末残

(単位：百万円)

	2026年3月期			2025年3月期	2024年3月期	2023年3月期	2022年3月期
	2025年3月期比	2022年3月期比					
貸出金	565,095	6,531	29,923	558,564	551,750	544,124	535,172
個人向け	151,334	867	12,705	150,467	148,024	144,237	138,629
中小規模事業者等向け貸出	333,902	2,747	18,657	331,155	323,633	319,739	315,245
その他	79,858	2,916	▲ 1,440	76,942	80,093	80,148	81,298

平残

(単位：百万円、%)

	2026年3月期			2025年3月期	2024年3月期	2023年3月期	2022年3月期
	2025年3月期比	2022年3月期比					
貸出金	558,338	4,758	32,705	553,580	543,467	535,268	525,633
個人向け	150,485	1,688	15,263	148,797	145,602	140,939	135,222
中小規模事業者等向け貸出	329,350	4,263	22,889	325,087	317,435	312,148	306,461
その他	78,501	▲ 1,195	▲ 5,449	79,696	80,430	82,181	83,950
貸出金に占める中小規模事業者等向け貸出割合	58.99%	0.27%	0.69%	58.72%	58.41%	58.32%	58.30%

8. 預金の状況（単体）

- ① 預金は、前年同期比末残は126億円増加の7,749億円、平残は18億円減少の7,677億円
- ② 中長期では、2022年3月期比、末残490億円増加、平残458億円増加

未残

(単位：百万円)

	2026年3月期			2025年3月期	2024年3月期	2023年3月期	2022年3月期
	2025年3月期比	2022年3月期比					
預金	774,984	▲ 12,645	▲ 49,011	762,338	754,754	736,216	725,973
個人	550,134	▲ 1,917	22,699	552,052	548,604	540,792	527,435
法人	224,850	14,563	26,312	210,286	206,150	195,424	198,538

平残

(単位：百万円)

	2026年3月期			2025年3月期	2024年3月期	2023年3月期	2022年3月期
	2025年3月期比	2022年3月期比					
預金	767,713	▲ 1,869	▲ 45,852	769,582	750,821	739,869	721,861
個人	552,063	▲ 1,815	33,245	553,878	546,383	538,656	518,818
法人	215,650	▲ 54	12,608	215,704	204,437	201,213	203,042

(注) 法人預金には、公金預金・金融機関預金を含んでおります。

9. 自己資本比率（単体・速報値）

① 2026年3月期の自己資本比率は、前年同期比0.42ポイント上昇の8.65%

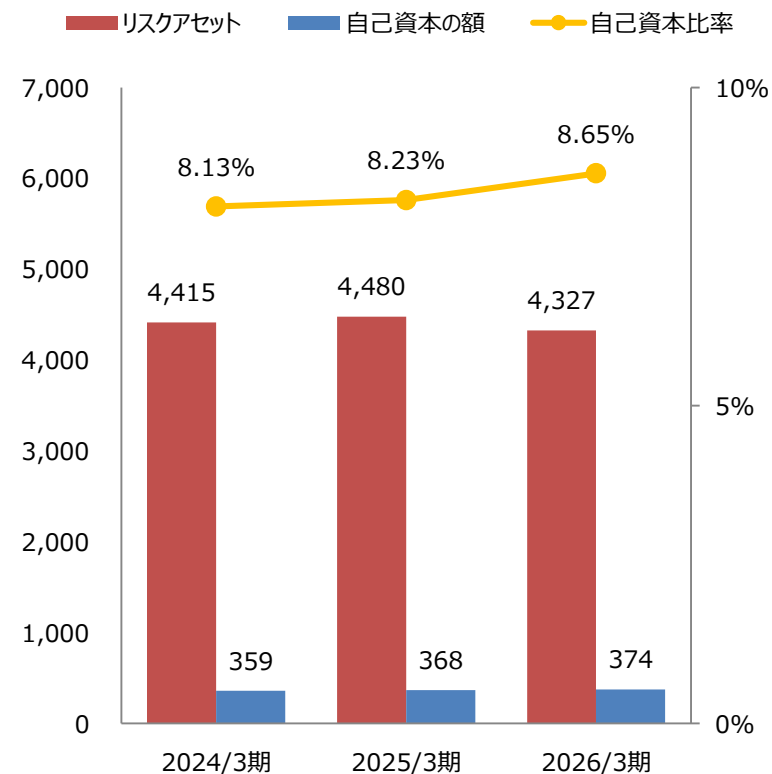
② 上昇要因は以下のとおり

- ・利益計上による自己資本額増加
- ・バーゼルⅢ（最終化）基準変更によるリスクアセット減少

(単位：億円、%)

(単位：百万円、%)

	2026年3月期		2025年3月期	2024年3月期
	速報値	2025年3月期比	実績	実績
自己資本比率	8.65%	0.42%	8.23%	8.13%
自己資本の額	37,474	588	36,886	35,926
リスクアセット	432,748	▲ 15,350	448,098	441,597



10. 2027年3月期の業績予想（単体）

- ① 2026年度通期の業績予想は、
コア業務純益 : 2,400百万円
経常収益 : 15,000百万円
経常利益 : 2,470百万円
当期純利益 : 1,500百万円 を見込む
- ② 2026年度通期の与信関係費用は700百万円を見込む

(単位：百万円)

	2027年3月期 通期予想	2026年3月期 通期実績
コア業務純益	2,400	2,422
経常収益	15,000	15,816
経常利益	2,470	2,457
当期純利益	1,500	1,469

与信関係費用	700	1,910
--------	-----	-------

地域経済活性化・社会貢献への取組み

11.地域経済活性化への取組み (M&A・事業承継)

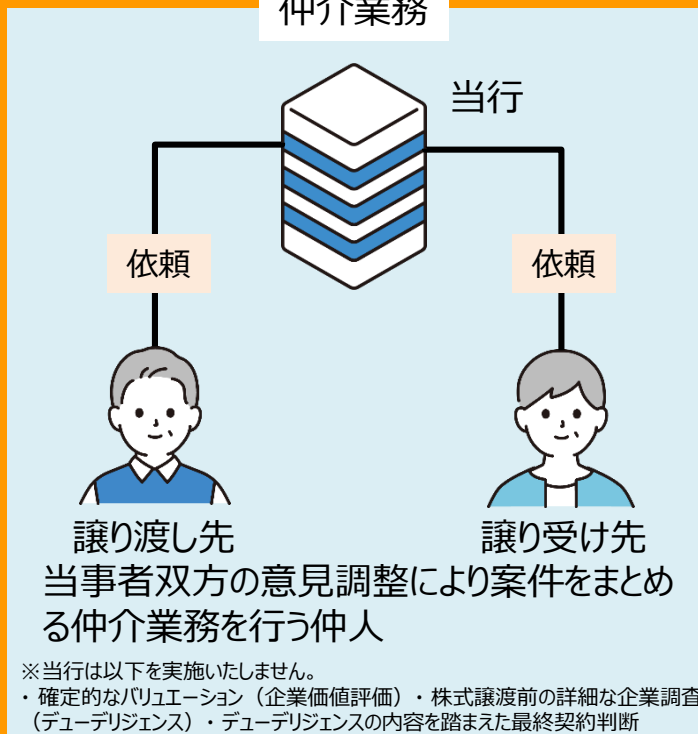
後継者の不在により、優良な経営資源が活用されないまま喪失してしまうという地域課題の解決を目的に、持続可能な地域経済の実現に繋がるサービスとして、M&A・事業承継支援の一部を内製化しました。

宮崎太陽銀行

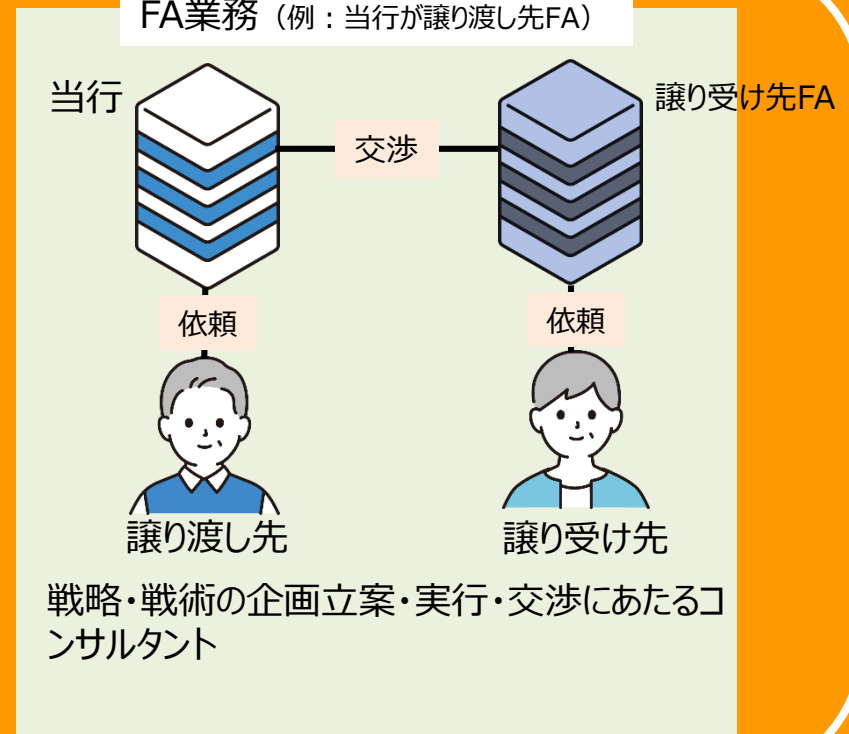
地域活性化部

営業店

仲介業務



FA業務 (例：当行が譲り渡し先FA)



12. 地域経済活性化への取組み（大学との連携事業）



宮崎大学認定連携協力コーディネーター報告・検討会

宮崎大学との連携事業の一つとして、「認定連携協力コーディネーター」に認定された当行及び当行グループ会社職員が、お取引先の技術相談や知財相談を宮崎大学へ取り次ぐほか、宮崎大学と当行による合同検討会を実施しております。また鹿児島大学における同様の制度においても、2021年10月より当行行員1名がコーディネーターとして認定され、鹿児島県内の企業様の事業課題等を鹿児島大学へ橋渡ししております。

直近の事例としては、砂栽培農法によるレタスの生産事業者様の、「有機養液栽培方法への転換における課題」について相談を行い、宮崎大学側より有機溶液製造における留意事項、専門教授のご紹介等のご提案がなされました。



（▲2025年度の検討会の様子）



（▲砂栽培農法によるレタス栽培の様子）

13. 地域経済活性化への取組み（DX支援）



当行では、地場のIT企業やその他の支援機関等と連携して、お取引先の経営課題の解決や業務効率化を目的としてデジタル化・IT化・DX支援をしております。一例として建設業向けDX支援ツール・サービスを提供する事業者と業務提携し、お取引先のDX支援を実施しました。

【DX支援事例】

現場スタッフの紙による日報の回収・転記・集計作業などに多大な時間と手間がかかり悩んでいた土木事業者様に対し、建設業向けの一元管理ツールを提案・導入することにより、従業員が各自LINE登録することで自動化され、加えて見積書・請求書などの発行業務や原価計算など一元管理が可能となり、大幅な事務負担軽減に繋がりました。また同先はIT導入補助金も採択になったことで自己資金拠出も抑えられ、大変喜ばれました。



14. 地域経済活性化への取組み（地元企業との連携）



第7回高校生向け就職支援企画「企業と学生のマッチングプロジェクト」の開催

本企画は宮崎県内企業・高校・当行が連携し、就職を希望する高校生に地元企業を紹介することで、地元就職者の増加を促し、地元企業の人材確保に繋げることを目的に開催している企画です。

7回目となる今回は、延岡商業高校、富島高校の生徒計28名が参加し、日向市、門川町の企業4社を訪問しました。

参加された生徒からは「卒業後は福岡に就職することを考えていたが、今回の体験で宮崎県内への就職も視野に入れてみようと思った」「自分の就いてみたい職種が広がった、職場の雰囲気を知れて良かった」等の感想があり、企業側からも、「学生の皆さんと接する貴重な機会をもらえて有難かった」「マスコミにも複数取り上げられ、自社のPRに繋がった」等の感想をいただきました。



（▲地元企業への理解を深める高校生の様子）

15. 地域経済活性化への取組み（各種セミナー開催）



次世代塾の開講（延べ290名受講）

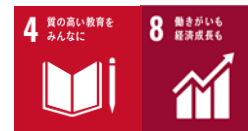
経営層や後継者等を対象とする企業人材育成支援セミナー「次世代塾」を2014年度より毎年実施しています。経営者に必要な基礎や、現状の経営課題を打破するための応用を学ぶ機会を、実践演習を交えながらご提供しています。これまで**延べ290名が受講されており、うち18名の新代表者が誕生**しております。

2026年度につきましては、6月より第12期 次世代塾の開講を予定しており、2027年5月まで各テーマごとに全12回開催します。



（写真は2025年度の次世代塾の様子）

15.地域経済活性化への取組み（各種セミナー開催）



行内研修のノウハウを活用し、地元企業や各種機関の人材育成に役立てていただくため、『太陽セミナー』を開催しました。

当行では、1971（昭和46）年から、太陽セミナーを開催しております。このセミナーは、当行が行内向けに開催してきた「新人研修」や「接遇研修」のノウハウを活用し、お取引先の事業活動に役立ててもらうことが目的です。2025年度は、18事業所の約520名の方が受講しています。

【太陽セミナーの様子】



▲宮崎ケーブルテレビ株式会社



▲合同会社一心



▲INOBECH協同組合

2025年度の主な取組み

16. 2025年度の主な取組み



特殊詐欺防止、宮崎北署より感謝状を受領

- 花ヶ島支店と総務部の行員が特殊詐欺未然防止事案で警察表彰を受けました。2025年度は30名の行員が表彰を受けております。当行では、営業店からのマネロンに対する質問や気付き、最近の当行を含む全国金融機関で起こっている特殊詐欺事例等を題材にして、マネロン・テロ資金供与防止を目的に、OJTを実施しています。



『「小さな親切」運動職場献血』で地域貢献

- 本社ビルにて、年2回の職場献血を実施し、毎年多くの行員が参加しております。
- その他、「小さな親切運動」宮崎支部の支部長企業として多くの企業と連携し、銀行周辺や商店街の清掃美化活動に各支店が一丸となって参加するなど、美しい街づくりに貢献しています。



全社的総合訓練として「救護訓練」を実施

- 外部講師を招き、救命処置「心肺蘇生法（CPR）や、自動体外式除細動器（AED）」の方法を学びました。
- 当行では、南海トラフ地震や風水害などの大規模災害発生に備え、お客さまと行員の命を守り、より迅速に金融サービスを提供できるように様々なBCP訓練を実施しております。
- 避難場所確認訓練、現金手払い訓練、防災訓練等



16. 2025年度の主な取組み



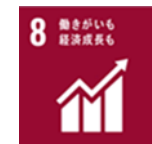
「宮崎県フードバンク」への物資の寄贈

- 子どもの貧困問題という地域課題解決の取組みの一つとして、当行グループ全体でフードドライブを実施しました。贈呈式では、本取組みに対する感謝の言葉をいただきました。近年は、外国人世帯の困窮も目立ち始めており、県内には収入や家族構成等を背景に食材提供を待つ多くの家庭、子どもたちが存在するという窮状を伺いました。



視覚障がい者マラソン協賛金贈呈式

- 視覚障がい者の理解啓蒙活動に寄与することを目標に第1回大会（1992年）から毎年協賛活動を続けています。



「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」協賛感謝状授与式

- 当行は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国スポ・障スポを応援しています。



16. 2025年度の主な取組み



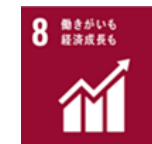
大淀川クリーンアップボランティア参加

- 河川愛護月間に開催される「大淀川クリーンアップ2025」のボランティア活動に参加しました。総勢700名程度が集まり平和台大橋から河口までを14区間に分担し清掃活動を行うイベントに、当行からは35名が参加し、葉大橋上流から河口の清掃活動を行いました。



第34回宮崎太陽銀行旗宮崎県ジュニアドッグボール選手権開催

- 「第34回宮崎太陽銀行旗 宮崎県ジュニアドッグボール選手権」を開催し、ボランティアとして参加しました。社会貢献活動の一環として第1回大会から参加しており、今回で34回目となります。これからも、地域の方々とのふれあいを深めながら社会貢献活動に取組みたいと考えます。



地元の祭り「裸まいり」に参加

当行では各地の祭事や地域行事に多くの行員が参加させていただいています。

- 2025年11月 大根やぐらイルミネーション設置（田野出張所）
- 2026年1月 青島神社裸まいり参加（青島支店）
- 2026年1月 宮崎市中央卸売市場「初商式」参加等（宮崎市場支店）等

